

魚籠びくの中の大捕り物

- 1 きれいな若い娘がひとり 鱈たらを買いに
通りを歩いて行きました
すると 美男の牧師が一目惚れ
牧師は 娘の後を付けました
牧師は 娘の後を付けました
- 2 「きれいな娘さん お家はどこですか
どうか私に教えて下さい
もしも今晚 闇夜なら
あなたを訪ねて行きましょう」
- 3 「でも父は 戸口にいつも鍵をかけ
母が鍵を隠しています
たとえあなたが 忍びの達人でも
私の部屋へ 忍び込むのは無理でしょう」
- 4 牧師には 信頼できる弟がおりました
彼こそ 忍びの達人そのものでした
弟は 三十三段の
長い梯子を作りました
- 5 弟は 留め金と魚籠びく
魚籠びくと楔くさきも作りました
煙突のてっぺんに登って
魚籠びくに入った牧師を 中へ入れました
- 6 目をさましていた古女房は
話し声を聞きました
「確かに 娘の部屋に男がいるわ」
困った古女房は言いました
- 7 亭主は起き上がり
様子をさぐりに行きました
娘は 美男の牧師を腕に抱き
青い服で隠しました
- 8 「今ごろ どちらへ お父さん
こんなに遅く なんの用
夕べの祈りの邪魔をされたわ
ああ だけどお祈りは素晴らしかったわ」
- 9 「大馬鹿者め 困った古女房よ

空目 空耳 空夢見たか
娘は両腕に 大きな聖書を抱えて
おまえとわしのために 祈っていたのだ」

10 寝つけなかった古女房は
もう一度 話し声を聞きました
「今度こそ確かに 娘の部屋に男がいるわ」
困った古女房は言いました

11 古女房は起き上がり
様子をさぐりに行きました
ところが 足を取られてとんだ災難
魚籠びくの中に突っ込みました

12 煙突のてっぺんにいた弟は
魚籠びくが一杯になったと思いました
そこで 左の肩にロープを巻いて
すばやく手元に引き上げました

13 「助けて 助けて あなた お願い
助けて あなた お願い
空夢ではないわ
誰かが私をさらって行くのよ」

14 「こそ泥が おまえを捕まえたのなら
そのまま獲物を 持っていてもらおう
おまえは 冬の夜長を片時も
わしを眠らせないからな」

15 男は女を ロープで吊り上げ 吊り下げ
しつこく繰り返しました
「神様 お助けを」 困った古女房が言いました
「ああ もう わたし 死にそう」

16 男は女を ロープで吊り上げ 吊り下げ
最後は ドスン と落しました
女のわき腹の肋骨が 壁に当って
ポキッ ポキッ と鳴りました

17 青い服 きれいなきれいな青い服
青い服に 幸いあれ
自分の娘に嫉妬する古女房たちよ
魚籠びくの中で 陽気に騒ぐがよい